

令和7年度	設計 の 理由	配水管布設替に伴い、本工事を要 す。	工期	R8.3.10 限り	施工 方法	条件付 一般競 争入札
市 単						

実 施 設 計 書

配水管布設工事 第6号

矢板市平野地内

工事延長 L=32.02m

設計概要

配水管布設工	HPPE φ 100	14.80m
橋梁添架水管橋設置工	HPPE φ 100	17.22m
空気弁設置工	φ 75	1箇所
土工		一式
仮設工		一式

	設計書用紙 (乙)	栃木県矢板市
--	-----------	--------

工事金額	金	円
	内 訳	
工事価格	金	円
消費税相当額	金	円

予 算 額		増減額	予 算 額 に対する 査 定 額	理 由
査 定 額				
実施 前回	設計額	増減額	前 設 計 額 請 負 額 に 対 する 増 減 額	
	請負額			
	請負率			
今回 変更	設計額			
	請負額			

位置図



施 工 条 件 書

配水管布設工事 第6号

(矢板市平野地内)

矢板市上下水道事務所

項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等	項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等
工 事 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占用位置、土被り等、計画に沿って十分注意し、凹凸配管にならぬよう管を布設し、転圧埋め戻し作業を行うこと。 ・ 制水弁筐等は、適切な位置及び高さに設置すること。 ・ 掘削については、道路使用許可（矢板警察署、矢板消防署）をとること。 	仮 設 備 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設備の構造及び施工方法は、施工計画書に明示したうえで、監督員と協議すること。 ・ 工事表示等保安施設については、所定の位置に設置し、夜間においても遠方から確認できるようにすること。また、常に巡回を行い、安全確認を行うこと。特に交差点付近の工事となる場合は、万全を期すこと。 ・ 掘削深が深くなる場所については、適切に土留め等を設置すること。
工 程 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事着手前に施工計画書を提出し、監督員と協議すること。 ・ 工事に何らかの支障があり、工程が遅れる場合、監督職員と協議すること。 ・ 近隣住民とよく協議し施工すること。 	建 設 副 産 物 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設副産物関係については下記のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 建設残土 <ol style="list-style-type: none"> (1) 処分方法： <u>指定処理 (B)</u> (2) 運搬距離： <u>8.0</u> km <p>※捨土処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※日曜、祭日、夜間の捨土は原則禁止とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 建設廃材 <ol style="list-style-type: none"> (1) A s ・ C o 塊 (2) 運搬距離： <u>6.5</u> km <p>※塊は30cm未満に破壊し、中間処理施設に搬入すること。 (1) A s 切削汚泥 (2) 運搬距離： <u>25.0</u> km</p> <p>※廃材処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※建設廃棄物処理委託契約を処理業者と締結し、契約書の写しを建設副産物処理承認申請書に添付すること。 ※マニフェストE票の写しを竣工図書に添付すること。</p>
用 地 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測量杭、境界杭等（白杭、青杭）は、工事車両、建設機械等で動かさぬよう確実に養生すること。（施工上、支障となる場合は、控えをとること。） ・ 施工上、個人の土地に立ち入らなければならない場合は、土地所有者の許可を得ること。 		
公 害 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業中の騒音、振動については、できる限り配慮すること。 ・ 原則として日曜、祭日等の作業は避けること。 ・ 残土運搬時、路上に落ちた土砂等の清掃を行うこと。（特に搬入先の路上） ・ 当該工事により、付近の家屋、工作物等に被害を及ぼす恐れがあるところは、着工前に外観調査（写真等を含む）を行うこと。 		
安 全 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工の安全確保の徹底を図るため、作業員全員による定期的な教育、訓練等を実施すること。（労働災害防止） ・ 工事車両の出入り口及び建設機械の旋回には、誘導員を配置すること。 ・ 交通車両及び歩行者の安全対策には、特に留意し、必要に応じ交通誘導員の配置を行うこと。（第三者に対する安全対策） ・ 交通整理員を延べ8人見込んでいる。 		
安 全 訓 練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事期間中、安全・衛生に関する研修・訓練等を月1回（半日）以上実施すること。 ・ KY日報を作成し、竣工図書に添付すること。 		

施 工 条 件 書

配水管布設工事 第6号 (矢板市平野地内)

矢板市上下水道事務所

項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等	項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等
工事用道路 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 住宅等に車が入り出すときは、速やかに通行を確保すること。 片側通行、全面通行止め等で施工する場合、所轄の警察署の許可及び矢板消防署、郵便局等の同意を得ること。 迂回路の場合、案内看板等を設置し、安全確保のため常に巡回すること。 	排水口（濁 水処理含） 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 地下水は、水路等への放流により適切に処理し、周辺を汚さないこと。 工事による廃油、廃材等については、絶対に河川等に流さないこと。
支障物件等	<ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物や他の公共施設等との離隔は、30cm以上確保すること。 地下埋設物（上水道管、NTTケーブル、電力ケーブル、防火水槽など）については、工事着工前に図面等により確認し、施工時には管理者の立会いを依頼すること。 <p>※上下水道事務所 下水道担当 0287-43-6214 ※NTT栃木サービスセンター 0120-204-462 ※東京電力カスタマーセンター 0120-99-5112 ※矢板警察署 0287-44-0110 ※矢板消防署 0287-44-2511</p>	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 本工事は、水道工事標準仕様書、土木工事共通仕様書、土木工事必携及び公共工物品質確保の手引きを準用すること。 特記仕様書を遵守すること。 ダクタイトル管の施工要領に基づき施工すること。 給水装置工事については、矢板市の指定する給水装置工事事業者が施工することとし、これについて下請業者等により施工する場合は、施工前に発注者へ届けでること。 主任技術者は、2級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者を充てることとする。 本施行箇所は、工事のため発注者の協議した道路占用許可条件に合わせて施工すること。 平成24年度より、工事竣工図書の一部（工事竣工図、管路弁栓調書・工事写真）を電子納品とするので、図書作成については、監督員と協議し、指示に従うこと。 工事着手時に起工測量を行い、設計図書と現場との照査を行い、監督員に報告すること。 道路復旧については、交通の支障とならないよう速やかに復旧すること。 水道資材の発注は必ず、監督員と協議したのち発注すること。 施工前に必ず、監督員と現地確認を行うこと。 本施工箇所は河川区域内での工事となるのため、湧水期中の施工となる。したがって、工事着手は11月以降とする。
過積載防止	<ul style="list-style-type: none"> ダンプトラック過積載による違法運転の防止実施要領により、下記のことについて遵守すること。 <ol style="list-style-type: none"> 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積込ませないこと。 さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積込ませない。 ※不表示車とは「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（「ダンプカー規正法」）第4条における表示義務違反車をいう。 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行う場合、または、さし柵装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。 		

特記仕様書

1. 本工事の主任技術者は、次に掲げる資格を有する者を当てなければならない。

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を二級の建設機械施工管理又は、二級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣か前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。

(2) 技術法（昭和32年法律第124号）による本試験のうち技術部門を建設部門、農業部門（選択科目「農業土木」とするものに限る。）とするものに合格した者。

なお、主任技術者等の通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの（写しでもよい）を添付すること。

特記仕様書

1. ダクタイル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表-1 の資格を有する者とする。

表-1 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
500mm未満のダクタイル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事	公益社団法人日本水道協会の配水管技能者登録	「耐震登録」又は「耐震継手」
	一般社団法人日本ダクタイル鋳鉄管協会の継手接合研修会の受講証を有する者	「耐小」（耐震管φ450以下）

※配水管工技能講習会（公益社団法人日本水道協会主催）受講修了者に交付される登録証の有効期限は発行日から5年間。有効期限を迎える登録証は更新手続きが必要。

2. 水道配水用ポリエチレン管（HPPE）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表-2 の資格を有する者とする。

表-2 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
水道配水用ポリエチレン管を含む工事	配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管施工講習会（配水管用）の受講修了者又は旧団体（「水道用ポリエチレンパイプシステム研究会」「配水用ポリエチレン管協会」）の施工講習会の受講修了者。また、これと同等のメーカー（積水化学工業(株)、(株)クボタシーアイ）が実施する講習会を受講し、受講証を取得した者	

矢板市水道工事水圧試験標準仕様書

この仕様書は、矢板市上下水道事務所水道課発注の水道工事における水圧試験について定めたものである。他の項目については、日本水道協会発行『水道工事標準仕様書』を準拠する。

- 1 受注者は配管終了後、継手の水密性を確認するため、管路の水圧試験を行わなければならない。
- 2 試験を行う場合は、監督員と事前に日時を協議し立会いのもと実施すること。
- 3 試験方法は管内充水方式とし、布設したダクタイル鋳鉄管、水道配水用ポリエチレン管及び水道用ポリエチレン二層管を 0.75Mpa で加圧し 1 時間後の水圧が 0.6Mpa 以上保持していれば合格とする。
- 4 管内への充水は一昼夜程度かけ、管内へ侵入した空気を十分に排気することが望ましいが、管径や配管形状、地理的な条件により変動するため、監督員と協議し決定すること。
- 5 試験値が合格値を下回った場合、管路や弁栓類を点検し充水作業後、再試験を行わなければならない。
- 6 試験器の取付け位置は、配管端部に取付けた管栓及び管栓帽又は消火栓とする。
- 7 試験器は自記録式又はデータログ式とする。自記録式ではチャート紙を使用し、データログ式ではチャート紙形式でデータを出力すること。なお、自記録式のチャート紙は 1 時間用又は 4 時間用を使用すること。
- 8 成果物はチャート紙と記録写真を提出することとし、記録写真のみは不可とする。
- 9 水道配水用ポリエチレン管の試験は EF 接合後 1 時間以上経過してから行うこと。
- 10 水道配水用ポリエチレン管の試験については、予備加圧（0.75Mpa で加圧し 10 分間放置）後に試験を行うことも可とする。
- 11 管径 900 mm 以上の鋳鉄管継手ではテストバンドを使用した水圧試験とし、試験方法は日本水道協会発行『水道工事標準仕様書【土木工事編】』に記載のとおりとする。

※試験器及び接続部材は受注者が用意すること。

※試験に使用する管栓や管栓帽は発注者が貸与するが、工事が重なり、受注者の求める日時に貸与できない場合がある。この時、受注者の都合で試験を実施する場合は、受注者の負担で部材を用意すること。

(別紙 5)

捨土処理報告書

令和 年 月 日

矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類 写真（処理前後）、位置図

(別紙 6)

廃材処理報告書

令和 年 月 日

矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名
2. 工 事 場 所
3. 処 分 場 所
4. 処分地所有者名
又は処理施設社名
5. 処 理 量
6. 付 属 書 類

写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

電子納品に関する特記仕様書

(建設工事)

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、当該工事（以下「本工事」という。）の最終成果品を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

(電子納品)

第2条 電子納品とは、本工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。

(成果品の提出)

第3条 成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステム及びウィルス対策ソフトを利用してチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納することとする。提出物は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副各1部、計2部とする。

なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。

「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。

また、紙による書類の提出は必要最小限とする。

(成果品の保管)

第4条 請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は10年間を原則とする。

(成果品の確認)

第5条 請負者は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）提出時において、電子データが「ガイドライン」に基づき作成されていることを、監督職員の立会いのもと確認する。

なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。

(その他)

第6条 請負者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。

様式2

電 子 媒 体 納 品 書

矢板市長 様

請負者（受注者）

住 所

氏 名

（担当者）

印
印

下記のとおり電子媒体を納品いたします。

記

工 事 名 (業務委託名)		契 約 番 号			
工事場所 (委託場所)	矢板市 地内	TECRIS・CORINS 登録番号			
電子媒体の種類	規 格	単 位	数 量	作成年月日	備考
		枚		令和 年 月 日	
【適用】					

【発注者側記載事項】

受領者及び保管場所

担 当 課	課 班・担当	職氏名	印
保 管 場 所			

工事設計書

工事名称 配水管布設工事 第6号	
<u>工事費総額</u> ¥-	
(内訳) 工事価格 ¥	
消費税 ¥-	
発注者名	矢板市上下水道事務所 水道課
工 期	令和8年3月10日迄
工事場所	矢板市平野地内
場所名称	山口橋
共通仮設費補正： 一般交通等の影響あり② *1.2 現場管理費補正(工事場所)： 一般交通等の影響あり② *1.1 一般管理費補正(前払金支出割合)： 前払金支出割合35%を超え(補正しない) *1 一般管理費補正(契約保証)： 金銭的保証を必要 +0.04%	
工事概要	
〒	
TEL	
FAX	
メール	

総括情報表

事務所名 設計書区分/番号 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 設計書名	008 矢板 (09 栃木県) 2025-07-10		
	当世代	前世代	
前払率 工事種類 工種区分 施工地域・工事場所区分 現場環境改善費補正 一般管理費補正(契約保証) 緊急工事区分による補正 豪雪補正	前払金支出割合35%を超え(補正しない) 水道工事(水道実務必携基準) 開削工事及び小口径推進工事等 一般交通等の影響あり② 金銭的保証を必要 補正なし		

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
配水管布設	1	式			
配水管布設工	1	式			
配水管布設工 (材料費)					
HPPE管 φ100	1	式			
ポリエチレン管(PEP) EF片受直管 φ100×5m	1	本			管:
ポリエチレン管(PEP) EF片受直管 φ100×5m	2	本			切管用 管:
EF片受曲管 22° 1/2 φ100	2	個			管:
EF片受曲管 11° 1/4 φ100	1	個			管:
EF両受曲管 22° 1/2 φ100	2	個			管:
EFソケット φ100	3	個			管:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
PE挿口付鋳鉄製フランジ付T字管 φ100×75 7.5K	1	個			管:
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	7	m			
埋設標示シート 幅150mm ダブル	14.8	m			
ロケーションワイヤー	14.8	m			
配水管布設工 (労務費) HPPE管 φ100	1	式			
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))据付工 呼び径100mm	14.8	m			代価第1号
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))継手工 呼び径100mm 1口継手	16	箇所			代価第2号
ポリエチレン管切断 100mm	4	口			代価第3号 「水道事業実務必携」一編-2章-8節-7
管明示テープ工 天端明示無 (手間のみ) 100mm	7	m			代価第4号 「水道事業実務必携」一編-2章-6節-4

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
管明シート工 (手間)	14.8	m			代価第5号 「水道事業実務必携」一編-2章-3節-16
クーティングリヤー工(手間のみ)	14.8	m			代価第6号
通水試験工 試験距離：32.02m	32.02	m			代価第7号
配水管布設工 (材料費) 橋梁添架部	1	式			
2曲管 HPPE/SUS-SDP (内ハゼ) ,SUS304TP φ100/φ216.3、 200A*1904L*11° 15' *520L*11° 15' *686L	2	本			管:
直管 HPPE/SUS-SDP (内ハゼ) φ100/φ216.3*3500L	2	本			管:
直管 HPPE/SUS-SDP (内ハゼ) φ100/φ216.3*4000L	1	本			管:
支持金具 SS400 φ216.3用	8	組			
ワンタッチカバー SUS304 φ217.9*450L	4	組			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
Uバンド φ216.3用 M12	8	組			
支承（絶縁プレート付） SUS304 φ216.3用	8	組			
EFソケット φ100	4	個			管：
配水管布設工（労務費） 橋梁添架部	1	式			
橋梁添架	1	式			代価第8号
既設管撤去切断工（鋼管） STW290 呼び径100mm	6	口			代価第9号
撤去管吊上げ積込み 鋼管 人力 呼び径100mm	15.4	m			代価第10号
建設廃棄物収集・運搬費 2tダンプ車 片道25kmまで	0.19	t			処：
廃材処理費 混合廃棄物（木くず、金属くず、廃プラを含む）	0.5	m ³			処：

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
空気弁設置工 (材料費) φ75	1	式			
ボール式補修弁 (レバー式) 内面粉体 φ75 L150	1	個			管:
急速空気弁 内面粉体 φ75 7.5K	1	基			管:
空気弁用鉄蓋 円形 φ600 鉄蓋、受枠共	1	組			
消火栓・空気弁用ボックス 上部壁 内径600 H200	1	個			
消火栓・空気弁用ボックス 下部壁 内径600 H200	1	個			
消火栓・空気弁用ボックス 底版 内径600 H40	1	個			
フランジ 接合材 φ75 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	2	組			管:
空気弁設置工 (労務費) φ75	1	式			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
空気弁設置工 機械施工 呼び径75mm	1	基			代価第11号
鉄蓋設置 円形4号 無収縮モルタルあり 600mm 30以上60kg未満	1	個			代価第12号 「水道事業実務必携」一編-2章-9節-5
レジンコンクリート製ボックス設置 円形4号 上部壁 600×200 30以上60kg未満	1	個			代価第13号 「水道事業実務必携」一編-2章-9節-5
レジンコンクリート製ボックス設置 円形4号 下部壁 600×200 30kg未満	1	個			代価第14号 「水道事業実務必携」一編-2章-9節-5
レジンコンクリート製ボックス設置 円形4号 底版 600×40 30kg未満	1	個			代価第15号 「水道事業実務必携」一編-2章-9節-5
フランジ継手JWWA7.5K 75(80)mm	1	口			代価第16号 「水道事業実務必携」一編-2章-3節-5
土工	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, -,-	32.8	m			施工第1号
舗装版直接掘削工(バックホ) 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	10	m2			代価第17号

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工 ダンプトラック2t積 バックホク山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 6.5km以下 タイヤ良好	0.5	m3			代価第18号
アスファルト廃材処理費	0.5	m3			処:
舗装版切断汚泥運搬費 2tトラック車片道25kmまで	0.1	m3			
舗装版切断汚泥処分費 汚泥比重 1.20~1.10	0.1	m3			処:
バックホ掘削積込 山積0.28m3[平積0.2]	11	m3			代価第19号 「水道事業実務必携」二編-1章-1節-1
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂(埋戻し用)	4	m3			代価第20号
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	3	m3			代価第21号
発生土運搬工 ダンプトラック2t積 バックホク山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 8.0km以下 タイヤ良好	8	m3			代価第22号
路盤工(施工幅1.8m未満) 3層仕上げ 仕上り厚35cm 再生クラッシャーレン(RC-40)	10	m2			代価第23号

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工(人力施工) 車道及び路肩 仕上り厚5cm プライムコート 砂散布なし アスファルト 混合物(エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20))	10	m2			代価第24号
仮設工	1	式			
交通誘導警備員B		人			配置人数8人
【 直接工事費計 】					
共通仮設費率額	1	式			
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理費率額	1	式			
【 現場管理費計 】					

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
【 工事原価 】					
一般管理费率額	1	式			
【 一般管理費計 】					
【 工事価格 】					
【 消費税等相当額 】					
【 工事費計 】					

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の7%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
架設工	1	式			
ポリエチレン管（融着接合（EF接合））継手工 100mm（1口継手・片受）	4	箇所			「水道実務必携」（一）-2-6-2
コネクションプレート取付工 橋梁主桁へ溶接（すみ肉溶接）	8	箇所			
塗装補修工 コネクションプレート溶接部（塗装仕様は橋梁と同等とする）	8	箇所			
支持金具設置工 φ216.3用 支承取付工	8	箇所			
ワンタッチカバー設置工（保温工含） φ217.9*450L	4	箇所			
足場工 吊り足場	1	式			
コンクリート 小型構造物,バックホウ(クレーン機能付)打設,生コンクリート 高炉・普通 18-8-40(W/C指定なし),-,一般養生,-,-, -	0.2	m3			施工第2号 防護コンクリート
型枠 一般型枠,小型構造物	1.4	m2			施工第3号 防護コンクリート

施工代価表

1 基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 4t積 2.9t吊		h			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	基			
【 単位当り 】	1	基			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

舗装版直接掘削工(ハック材)

舗装厚0cm超え10cm以下 ハック材 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第17号

頁0029

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ハック材運転費[標準型・排対型(2次)] 山積0.28m3[平0.2]		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

バックホウ掘削積込
山積0.28m3[平積0.2]

施工代価表

代価第19号

頁0031

「水道事業実務必携」二編-1章-1節-1

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転費[標準型・排対型(2次)] 山積0.28m3[平0.2]		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m3			
【単位当り】	1	m3			

施工代価表

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締固め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締固め
砂 埋戻し用 【建築用】	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締固め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締固め
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

路盤工(施工幅1.8m未満)

3層仕上げ 仕上り厚35cm 再生クランチャーラン(RC-40)

施工代価表

代価第23号

頁0035

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
再生クランチャーラン RC-40	44.45	m3			100*(35/100)*(1+0.27)
クンパ ^o 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚5cm フライムコート 砂散布なし アスファルト混合物(エコラ
グ入り再生密粒度アスコ(20))

施工代価表

代価第24号

頁0036

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコラグ入り再生密粒度アスコ(20)	12.573	t			100*(5/100)*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用	126	L			
振動ローラ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする
【合計】	100	m2			

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代表機労材規格	構成比	単価	補正式	備考
K 東京	機械	6.2			
K1 東京	コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm	4.19			令和7年度版建設機械等損料表11-9
R 東京	労務	54.85			
R1 東京	特殊作業員	19.02			
R2 東京	土木一般世話役	9.77			
R3 東京	普通作業員	8.28			
Z 東京	材料	38.95			
Z1 東京	プレート(コンクリートカッタ) 径22インチ	36.13			
Z2 東京	ガソリンレギュレーター スタンド	1.91			

コンクリート

小型構造物,ハック材(クレーン機能付)打設,生コンクリート 高炉・普通 18-8-40(W/C指定なし),-,一般養生,-,-,-

施工パッケージ

施工第2号

頁0040

積算単位：m3

区分	代表機労材規格	構成比	単価	補正式	備考
K 東京	機械	4.31			
K1 東京	ハック材賃料(クレーン型・クレーン付) 山積0.8m3	4.07			
R 東京	労務	39.87			
R1 東京	普通作業員	11.78			
R2 東京	特殊作業員	10.81			
R3 東京	土木一般世話役	7.98			
R4 東京	運転手(特殊)	6.7			
Z 東京	材料	55.82			
Z1 東京	生コンクリート 高炉・普通 18-8-40(W/C指定なし)	53.94			現場付近道路渡し

型枠
一般型枠, 小型構造物

施工パッケージ

施工第3号

頁0042

積算単位：m2

区分	代表機労材規格	構成比	単価	補正式	備考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	100			
R1 東京	型わく工	45.15			
R2 東京	普通作業員	30.47			
R3 東京	土木一般世話役	11.34			
Z 東京	材料	0			
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区：008 矢板 (09 栃木県) / 2025-07-10)				
	標準単価				

施工パッケージ

積算単位：m2

区分	代表機労材規格	構成比	単価	補正式	備考
K 東京	機械	6.07			
K1 東京	バックホウ賃料(クローラ型) 山積0.8m3	6.03			
R 東京	労務	75.99			
R1 東京	普通作業員	36.48			
R2 東京	特殊作業員	15.8			
R3 東京	運転手(特殊)	14.3			
R4 東京	土木一般世話役	8.89			
Z 東京	材料	17.94			
Z1 東京	再生クラッシュラン RC-40	12.97			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【労務費】					
交通誘導警備員B		人			
土木一般世話役		人			
型わく工		人			
普通作業員		人			
溶接工		人			
特殊作業員		人			
運転手(一般)		人			
運転手(特殊)		人			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
【損料・賃料】					
コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm		供用日			令和7年度版建設機械等損料表11-9
タンバ賃料 質量60～80kg		日			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級		供用日			令和7年度版建設機械等損料表03-1
ダンプトラック代損耗費 良好 2～3t積		供用日			
トラック[クレーン装置付] ヘーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		h			令和7年度版建設機械等損料表03-3
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(2次基準)] 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)		h			令和7年度版建設機械等損料表02-9
バックホウ賃料(クローラ型) 山積0.8m3		日			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ賃料(クローラ型・クレーン付) 山積0.8m3		日			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-7
振動ロー(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t		供用日			令和7年度版建設機械等損料表08-3
【材料費】					
Uバンド φ216.3用 M12	8	組			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	12.6	L			
アスファルト混合物 エコラック入り再生密粒度アスコ(20)	1.257	t			
ガソリン レギュラー スタンド	4.735	L			
コネクションプレート取付工 橋梁主桁へ溶接(すみ肉溶接)	8	箇所			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
プレート(コンクリートカッタ) 径22インチ	0.082	枚			
ロケティングワイヤー	14.8	m			
ワンタッチカバー SUS304 φ217.9*450L	4	組			
ワンタッチカバー設置工(保温工含) φ217.9*450L	4	箇所			
再生クランチャー RC-40	4.493	m ³			
埋設標示シート 幅150mm ダブル	14.8	m			
塗装補修工 コネクションプレート溶接部(塗装仕様は橋梁と同等とする)	8	箇所			
支承(絶縁プレート付) SUS304 φ216.3用	8	組			
支持金具 SS400 φ216.3用	8	組			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支持金具設置工 φ216.3用 支承取付工	8	箇所			
架設工	1	式			
消火栓・空気弁用ボックス 上部壁 内径600 H200	1	個			
消火栓・空気弁用ボックス 下部壁 内径600 H200	1	個			
消火栓・空気弁用ボックス 底版 内径600 H40	1	個			
無収縮モルタル 鉄蓋用(25kg/袋)	0.009	m3			
生コンクリート 高炉・普通 18-8-40(W/C指定なし)	0.211	m3			現場付近道路渡し
砂 埋戻し用【建築用】	5.04	m3			
空気弁用鉄蓋 円形 φ600 鉄蓋、受枠共	1	組			

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	7	m			
足場工 吊り足場	1	式			
軽油 1.2号 バトル給油	41.109	L			
【市場単価他】					
舗装版切断汚泥運搬費 2tトラック片道25kmまで	0.1	m3			
【処分費】					
アスファルト廃材処理費	0.5	m3			処:
廃材処理費 混合廃棄物(木くず、金属くず、廃プラを含む)	0.5	m3			処:
建設廃棄物収集・運搬費 2tダンプ車 片道25kmまで	0.19	t			処:

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断汚泥処分費 汚泥比重 1.20～1.10	0.1	m3			処:
【管材費】					
2曲管 HPPE/SUS-SDP (内ハゼ), SUS304TP φ100/φ216.3、 200A*1904L*11° 15' *520L*11° 15' *686L	2	本			管:
EFソケット φ100	7	個			管:
EF両受曲管 22° 1/2 φ100	2	個			管:
EF片受曲管 11° 1/4 φ100	1	個			管:
EF片受曲管 22° 1/2 φ100	2	個			管:
PE挿口付鋳鉄製フランジ付T字管 φ100×75 7.5K	1	個			管:
フランジ接合材 φ75 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	2	組			管:

単価調書

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ホール式補修弁(レバー式) 内面粉体 φ75 L150	1	個			管:
ポリエチレン管(PEP) EF片受直管 φ100×5m	3	本			管:
急速空気弁 内面粉体 φ75 7.5K	1	基			管:
直管 HPPE/SUS-SDP (内ハゼ) φ100/φ216.3*3500L	2	本			管:
直管 HPPE/SUS-SDP (内ハゼ) φ100/φ216.3*4000L	1	本			管:

公表単価一覧表

配水管布設工事 第6号

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
Uバンド	φ216.3用 M12	組	23,500			○	
コネクションプレート取付工	橋梁主桁へ溶接(すみ肉溶接)	箇所	27,700		○		
ロケーティングワイヤー		m	350			○	
ワンタッチカバー	ワンタッチカバー	組	10,700			○	
ワンタッチカバー設置工(保温工含)	φ217.9*450L	箇所	22,400		○		
塗装補修工	コネクションプレート溶接部(塗装仕様は橋梁と同等とする)	箇所	35,900		○		
支承(絶縁プレート付)	SUS304 φ216.3用	組	18,400			○	
支持金具	SS400 φ216.3用	組	138,000			○	
支持金具設置工	φ216.3用 支承取付工	箇所	36,500		○		
架設工		式	579,000		○		
消火栓・空気弁用ボックス	上部壁 内径600 H200	個	53,000			○	
消火栓・空気弁用ボックス	下部壁 内径600 H200	個	29,000			○	
消火栓・空気弁用ボックス	底版 内径600 H40	個	32,000			○	
空気弁用鉄蓋	円形 φ600 鉄蓋、受枠共	組	131,000			○	
管明示テープ	幅30mm 長さ20m/個 年号入	m	110			○	
足場工	吊り足場	式	872,000		○		
2曲管	HPPE/SUS-SDP(内ハゼ),SUS304TP φ100/φ216.3、200A*1904L*11° 15' *520L*11° 15' *686L	本	657,000			○	
PE挿口付鋳鉄製フランジ付T字管	φ100×75 7.5K	個	98,100			○	
フランジ接合材	φ75 芯金入パッキン、ステンホルト・ナット共	組	13,900			○	
直管	HPPE/SUS-SDP(内ハゼ) φ100/φ216.3*3500L	本	675,000			○	

1 本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」:機械器具等の損料または賃料

「労」:労務費

「材」:材料費

公表単価一覧表

配水管布設工事 第6号

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
直管	HPPE/SUS-SDP(内ハゼ) φ100/φ 216.3*4000L	本	719,000			○	

1 本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。
2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」:機械器具等の損料または賃料
「労」:労務費
「材」:材料費

1 . HPPE ϕ 100mm布設工 数量計算書

1) HPPE 布設工 ϕ 100mm L 1=5.53m (水平距離 l =5.45m)

2) HPPE 布設工 ϕ 100mm L 2=9.27m (水平距離 l =9.19m)

配管材料集計表

(HPPE φ 100mm)

名 称	形状・寸法	単位	数 量	単位長	延 長	コード番号	単 重	重 量
ポリエチレン管 (PEP)	EF片受直管 φ 100 × 5.00	本	Σ= 3 1	5.00	5.00	- -		
ポリエチレン管 (PEP)	EF片受切管 φ 100 × 5.00	本 m	2 7.27		7.27	- -		
E F 片受曲管 22 1/2°	φ 100 × 22 1/2°	個	2	0.39	0.78	- -		
E F 片受曲管 11 1/4°	φ 100 × 11 1/4°	個	1	0.40	0.40	- -		
E F 両受曲管 22 1/2°	φ 100 × 422 1/2°	個	2	0.28	0.56	- -		
E F ソ ケ ッ ト	φ 100	個	3			- -		
PE 挿口付 鑄鉄製 フランシッ付 T 字管	φ 100 × 75	個	1	0.79	0.79	- -		
埋 設 シ ー ト		m	14.8			- -		
明 示 テ ー プ		m	$14.80 / 5 \times 4 \times 0.125 \times \pi \times 1.5$ 7.0			- -		
ロケーティングワイヤー		m	14.80 - 0.00 14.8			- -		
						- -		
総 延 長					14.80			
布 設 延 長					14.80	仕切弁 14.80 - 0.00		

切管延長調書

HPPE φ 100 mm (1= 5.00 m/本)					
No.	甲切管	乙切管	延長	残管延長	切断口数
	EF直管				
1	4.09	0.77	4.86	0.14	2
2	0.66	1.75	2.41	2.59	2
小計	m 4.75	m 2.52	m 7.27	m 2.73	口 4
	プレーンエンド直管				
小計	m	m	m	m	口
合計	m 4.75	m 2.52	m 7.27	m 2.73	口 4

口径別土工数量集計表 1 HPPE φ100mm

布設工 L= 16.38 m

(水管橋部1・2含む)

布設工 L=	①市道車道部	②市道車道部					単位	小計		備考
	3.21 m	13.17 m						体積・面積	計上数値	
A. 機械掘削 (会所掘削)	1.493	9.285					m3	10.778	11	
B. 人力掘削										
C. 山砂埋戻	0.780	3.200					m3	3.980	4	
D. 発生土埋戻		3.161					m3	3.161	3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	1.493	6.124					m3	7.617	8	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)	0.096	0.395					m3	0.491	0.5	
G. アスファルト廃材処理	0.096	0.395					m3	0.491	0.5	
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)										
I. コンクリート廃材処理										
J. 舗装版切断濁水処理	0.006	0.026					m3	0.032	0.1	※処理量の最小数量は0.1m3とする。
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm										アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm	1.926	7.902					m2	9.828	10	アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm										コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断										舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断	6.420	26.340					m	32.760	32.8	舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断										舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工										再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工	1.926	7.902					m2	9.828	10	再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工										再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工										再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工										再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設										18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)	1.926	7.902					m2	9.828	10	エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)										エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚3cm
Y. 木矢板建込み										H=1.80
Z. 木製支保工1段										
a. 区画線										実線 白 W=15cm
b. 区画線										実線 黄 W=15cm
c. 区画線										矢印・記号・文字 15cm換算

口径・工種別土工数量計算表

1 HPPE φ100mm				
名 称	①市道車道部 L= 3.21 m (DP0.60)			
	L = 0.14 + 1.33 + 0.87 + 0.87 + + + + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘削)	3.210 × 0.465	1.493	1.493 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	3.210 × 0.243	0.780	0.780 m3	
D. 発生土埋戻				
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	3.210 × 0.465	1.493	1.493 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)	3.210 × 0.030	0.096	0.096 m3	
G. アスファルト廃材処理	3.210 × 0.030	0.096	0.096 m3	
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理	3.210 × 0.002	0.006	0.006 m3	
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm	3.210 × 0.600	1.926	1.926 m2	アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断	3.210 × 2.000	6.420	6.420 m	舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工	3.210 × 0.600	1.926	1.926 m2	再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)	3.210 × 0.600	1.926	1.926 m2	エコスタグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスタグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 木矢板建込み				H=1.80
Z. 木製支保工1段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

口径・工種別土工数量計算表

1 HPPE φ100mm				
名 称	②市道車道部 L= 13.17 m (DP1.00)			
	L = 5.31 + 7.86 + + + + + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘舎)	13.170 × 0.705	9.285	9.285 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	13.170 × 0.243	3.200	3.200 m3	
D. 発生土埋戻	13.170 × 0.240	3.161	3.161 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	13.170 × 0.465	6.124	6.124 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)	13.170 × 0.030	0.395	0.395 m3	
G. アスファルト廃材処理	13.170 × 0.030	0.395	0.395 m3	
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理	13.170 × 0.002	0.026	0.026 m3	
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm	13.170 × 0.600	7.902	7.902 m2	アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断	13.170 × 2.000	26.340	26.340 m	舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工	13.170 × 0.600	7.902	7.902 m2	再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)	13.170 × 0.600	7.902	7.902 m2	エコスラグ® 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ® 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 木矢板建込み				H=1.80
Z. 木製支保工1段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

①市道車道部

HPPE φ100 DP0.60m

名称

略図及び計算式

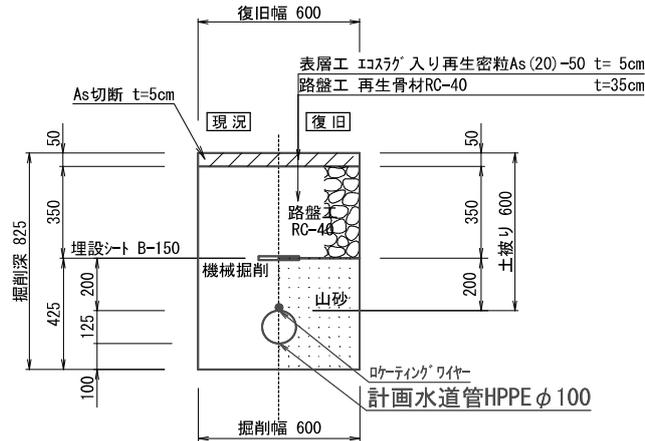
数量

① HPPE φ100 市道車道部 DP0.60

掘削幅0.60 L=0.14+1.33=1.47m

水管橋部(1+2) L=0.87+0.87=1.74m

合計 L=3.21m



1 m当たり数量

As舗装切断 t=5cm Wカッター	$L = 1.000 \times 2$	=	2.000	2.000 m/m
舗装版直接掘削積込	$A = 0.600 \times 1.000$	=	0.600	0.600 m ² /m
廃材処理・運搬	$V = 0.600 \times 0.050 \times 1.000$	=	0.030	0.030 m ³ /m
舗装版切断濁水処理	$V = 0.023 \times 0.050 \times (2.000)$	=	0.002	0.002 m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	$V = 0.600 \times (0.825 - 0.050) \times 1.000$	=	0.465	0.465 m ³ /m
人力掘削工	$V =$	=		m ³ /m
山砂埋戻工	$V = (0.600 \times 0.425 - \pi / 4 \times 0.125^2) \times 1.000$	=	0.243	0.243 m ³ /m
発生土埋戻	$V =$	=		0.000 m ³ /m
残土処分工(土砂)	$V = \text{掘削土量} 0.465 - \text{埋戻し土量} 0.000$	=	0.465	0.465 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t=35cm	$A = 0.600 \times 1.000$	=	0.600	0.600 m ² /m
表層工 t=5cm	$A = 0.600 \times 1.000$	=	0.600	0.600 m ² /m
土留工 (木製支保工1段)	$L =$	=		m/m

②市道車道部

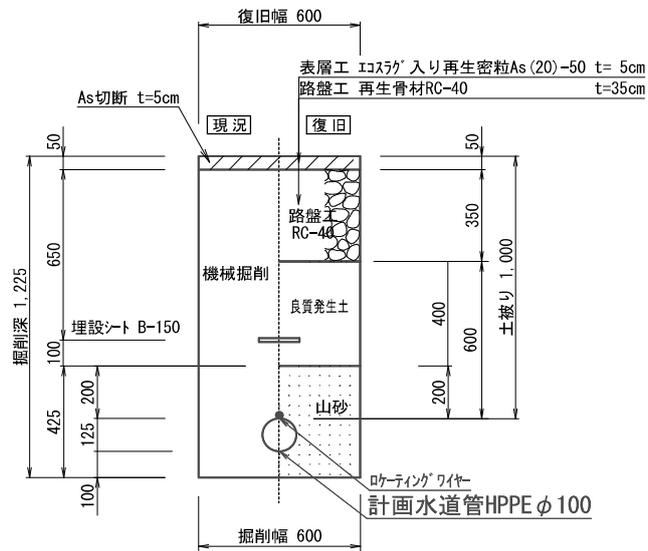
HPPE φ100 DP1.00m

名称

略図及び計算式

数量

② HPPE φ100 市道車道部 DP1.00
掘削幅0.60 L=5.31+7.86=13.17m



1 m当たり数量

As舗装切断 t=5cm Wカッター	$L = 1.000 \times 2$	=	2.000	2.000 m/m
舗装版直接掘削積込	$A = 0.600 \times 1.000$	=	0.600	0.600 m ² /m
廃材処理・運搬	$V = 0.600 \times 0.050 \times 1.000$	=	0.030	0.030 m ³ /m
舗装版切断濁水処理	$V = 0.023 \times 0.050 \times (2.000)$	=	0.002	0.002 m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	$V = 0.600 \times (1.225 - 0.050) \times 1.000$	=	0.705	0.705 m ³ /m
人力掘削工	$V =$	=		m ³ /m
山砂埋戻工	$V = (0.600 \times 0.425 - \pi / 4 \times 0.125^2) \times 1.000$	=	0.243	0.243 m ³ /m
発生土埋戻	$V = 0.600 \times 0.400 \times 1.000$	=	0.240	0.240 m ³ /m
残土処分工(土砂)	$V = \text{掘削土量} 0.705 - \text{埋戻し土量} 0.240$	=	0.465	0.465 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t=35cm	$A = 0.600 \times 1.000$	=	0.600	0.600 m ² /m
表層工 t=5cm	$A = 0.600 \times 1.000$	=	0.600	0.600 m ² /m
土留工 (木製支保工1段)	$L =$	=		m/m

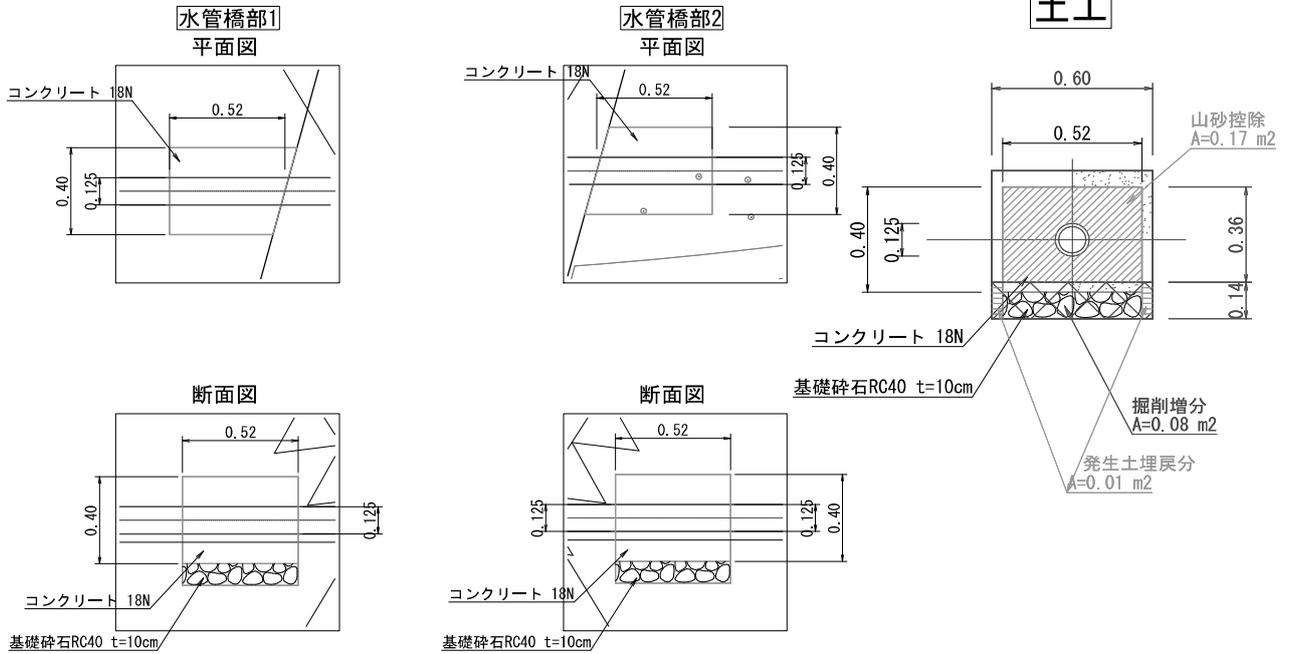
2. 橋梁添架水管橋設置工 数量計算書

1) HPPE 布設工 ϕ 100mm L=17.22m (水平距離 l=17.20m)

材 料 内 訳 表 material breakdown list			管理番号 file no. 23S3520TG-O-H2						
材質 material	種 別 classification	形 状 configuration	長さ又は面積 length or area (mm) or (m ²)	角 度 angle (°)	員数 q'ty	単位重量 unit weight (kg/m) or (kg/m ²)	重 量 weight (kg/個)	合 計 total (kg)	摘 要 abstract
番 号	図 名		寸 法				重 量		
1	2曲管		φ100/φ216.3、200A×1904L×11° 15'×520L×11° 15'×686L				48.4		
HPPE	Pipe	φ125.0×11.4	1764		1	4.2	7.5	7.5	
HPPE	Pipe	φ125.0×11.4	546		1	4.2	2.3	2.3	
HPPE	片受曲管	φ125.0×11° 15'		11.25	2		2.6	5.2	
SUS	Pipe	φ216.3×4.0	624		1	21.2	13.2	13.2	
SUS	Pipe	φ216.3×4.0	520		1	21.2	11.0	11.0	
SUS	Pipe	φ216.3×4.0	186		1	21.2	3.9	3.9	
SUS-SDP	Pipe	φ216.3×0.8	325		1	5.3	1.7	1.7	
SUS304	socket	φ216.3用			1		1.4	1.4	
SUS304	End seal	φ216.3×φ125.0×4.0	0.024		1	31.7	0.8	0.8	
ウレタン		φ100/φ216.3	325		1	0.90	0.3	0.3	
ウレタン		φ100/200A	1330		1	0.82	1.1	1.1	
番 号	図 名		寸 法				重 量		
2	直管		φ100/φ216.3×3500L				34.2		
HPPE	Pipe	φ125.0×11.4	3500		1	4.2	14.7	14.7	
SUS-SDP	Pipe	φ216.3×0.8	3150		1	5.3	16.7	16.7	
ウレタン		φ100/φ216.3	3150		1	0.90	2.8	2.8	
番 号	図 名		寸 法				重 量		
3	直管		φ100/φ216.3×4000L				39.4		
HPPE	Pipe	φ125.0×11.4	4000		1	4.2	16.8	16.8	
SUS-SDP	Pipe	φ216.3×0.8	3650		1	5.3	19.3	19.3	
ウレタン		φ100/φ216.3	3650		1	0.90	3.3	3.3	
番 号	図 名		寸 法				重 量		
4	支持金具		φ216.3用				17.8		
SS400	L	75×75×6	1320		1	6.85	9.0	9.0	
SS400	PL	200×95×9.0	0.019		2	70.7	1.3	2.7	
SS400	PL	335×190×9.0	0.064		2	47.6	3.0	6.1	
番 号	図 名		寸 法				重 量		
5	ワンタッチカバー		φ217.9×450L				2.7		
SUS304	PL	φ217.9×450L×0.8	0.379		1	6.3	2.4	2.4	
ウレタン		φ100/φ216.3	350		1	0.90	0.3	0.3	

名 称	防護コンクリート	縮尺 1:	番号:
-----	----------	-------	-----

防護コンクリート
S=1:20



名称・規格	算 式	数 量	単 位
1式 (2箇所) 当たり算出			
コンクリート 18N	$V = ((0.52 \times 0.40 \times 0.40) - (\pi / 4 \times 0.125^2 \times 0.52)) \times 2 = 0.154$	0.2	m ³
型枠	$A = ((0.40 \times 0.40 \times 2 + 0.52 \times 0.40 \times 2) - \pi / 4 \times 0.125^2 \times 2) \times 2 = 1.423$	1.4	m ²
基礎碎石 RC40 t=10cm	$A = 0.52 \times 0.40 \times 2 = 0.416$	0.4	m ²
土工 掘削増分	$V = 0.08 \times 0.52 \times 2 = 0.083$	0.083	m ³
山砂控除	$V = 0.17 \times 0.52 \times 2 \times -1 = -0.177$	-0.177	m ³
発生土埋戻分	$V = 0.01 \times 0.52 \times 2 = 0.010$	0.010	m ³

硬質塩化ビニールライニング鋼管(JLP) 【新定価 2011年6月～】 **JFEスチール株式会社**
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PFP) 【新定価 2011年6月～】
排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管(ELP) 【新定価 2011年6月～】  **新日鐵住金**

		064		064		065★		066		067		008	
		改定2011.6		改定2011.6		改定2011.6		改定2011.5		改定2011.5		改定2011.5	
サイズ	重量 (kg/本)	JFE JLP-VA	JFE JLP-VB	重量 (kg/本)	JFE JLP-VD	重量 (kg/本)	JFE PFP-PB	JFE PFP-PD	重量 (kg/本)	ELP (5.5M)			
15A	5.24	5,060	6,480	6.48	7,340	5.24	5,830	7,100					
20A	6.72	5,600	7,180	8.28	8,730	6.72	6,440	8,450					
25A	9.72	7,790	10,010	11.70	11,030	9.72	8,870	10,650					
32A	13.50	10,500	13,350	15.90	14,250	13.50	11,990	13,750	18.60	13,370			
40A	15.60	12,130	15,370	18.20	16,040	15.60	13,770	15,510	21.40	15,410			
50A	21.20	16,500	20,900	24.40	21,100	21.20	18,750	20,440	29.20	21,010			
65A	29.90	23,210	29,430	33.90	30,530	29.90	26,350	29,470	41.10	29,600			
80A	35.20	27,270	34,610	40.60	35,620	35.20	30,990	34,530	48.40	33,220			
100A	48.80	37,930	48,080	56.50	51,440	48.80	43,080	49,730	67.10	45,280			
125A	60.00	46,580	59,050	69.80	66,610				82.50	55,650			
150A	79.20	63,570	79,110	93.40	89,210				108.90	76,090			
200A				191.00					166.00	115,850			

※定尺は4,000mmです。但し ELP のみ 5,500mm です。

※一本当りの重量は参考値です。

硬質塩化ビニールライニング鋼管(PV)
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PE)
排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管(TEX) 【新定価 2011年6月～】  **新日鐵住金**

		054		055		056		057		058	
		改定2011.5		改定2011.5		改定2011.5		改定2011.5		改定2011.5	
サイズ	重量 (kg/本)	スミコート PV-VA	スミコート PV-VB	スミコート PV-VD	スミコート PE-N	スミコート PE-Z	スミコート PE-S	サイズ	重量 (kg/本)	スミコート TEX(5.5M)	
15A	5.24	5,060	6,470	7,330	4,440	5,820	7,100	15A			
20A	6.72	5,590	7,180	8,730	4,920	6,440	8,440	20A			
25A	9.72	7,790	10,010	11,030	6,850	8,870	10,650	25A			
32A	13.50	10,500	13,350	14,250	9,250	11,990	13,750	32A	18.60	13,370	
40A	15.60	12,130	15,370	16,040	10,650	13,770	15,510	40A	21.40	15,400	
50A	21.20	16,500	20,900	21,100	14,520	18,750	20,440	50A	29.20	21,010	
65A	29.90	23,210	29,430	30,530	20,390	26,350	29,470	65A	41.10	29,590	
80A	35.20	27,270	34,610	35,620	24,000	31,000	34,540	80A	48.30	33,210	
100A	48.80	37,940	48,080	51,440	33,320	43,080	49,730	100A	67.10	45,290	
125A	60.00	46,580	59,060	66,610				125A	82.50	55,650	
150A	79.20	63,570	79,110	89,220				150A	109.00	76,100	
200A								200A	166.00	115,850	

※定尺は4,000mmです。

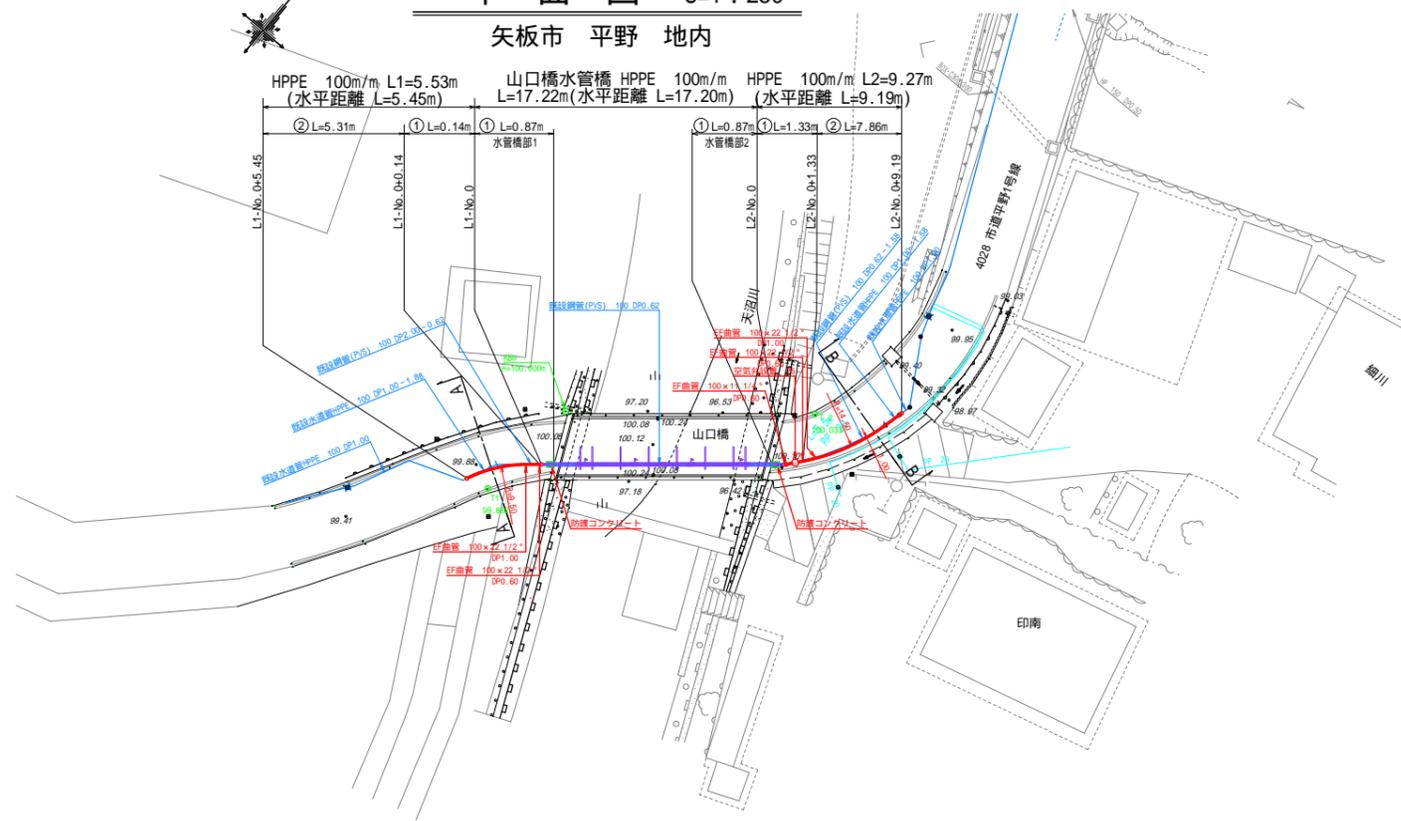
※一本当りの重量は参考値です。

3. 空気弁設置工 数量計算書

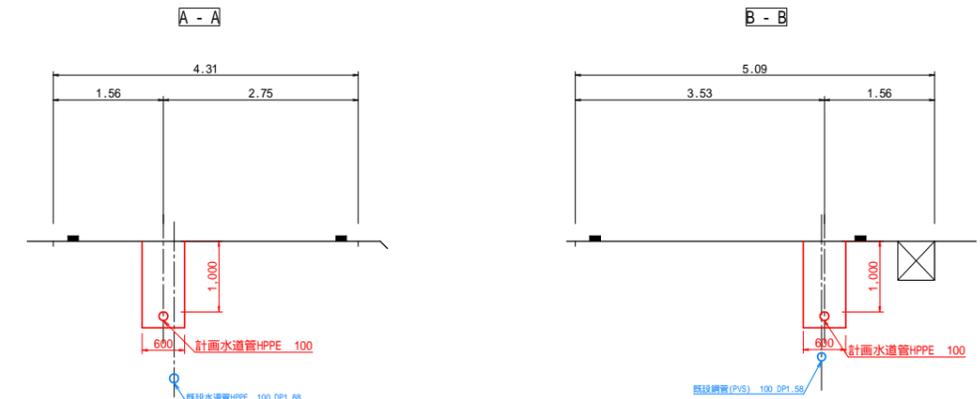
1) 空気弁設置工 $\phi 75\text{mm}$ 1箇所

平面図 S=1:250

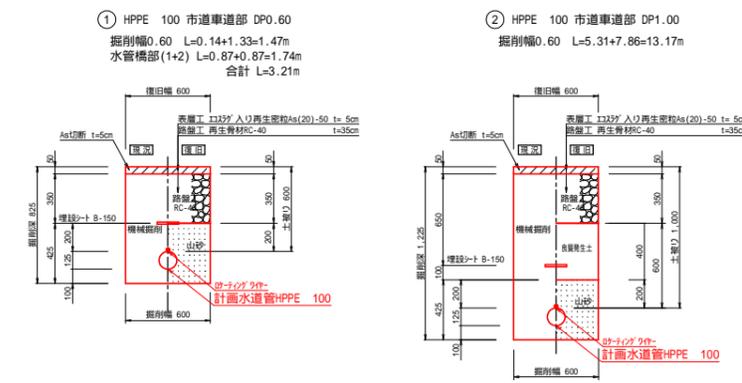
矢板市 平野 地内



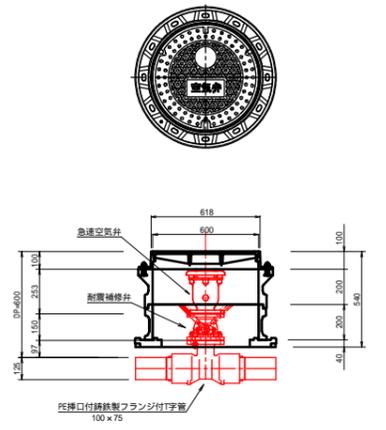
断面図 S=1:50



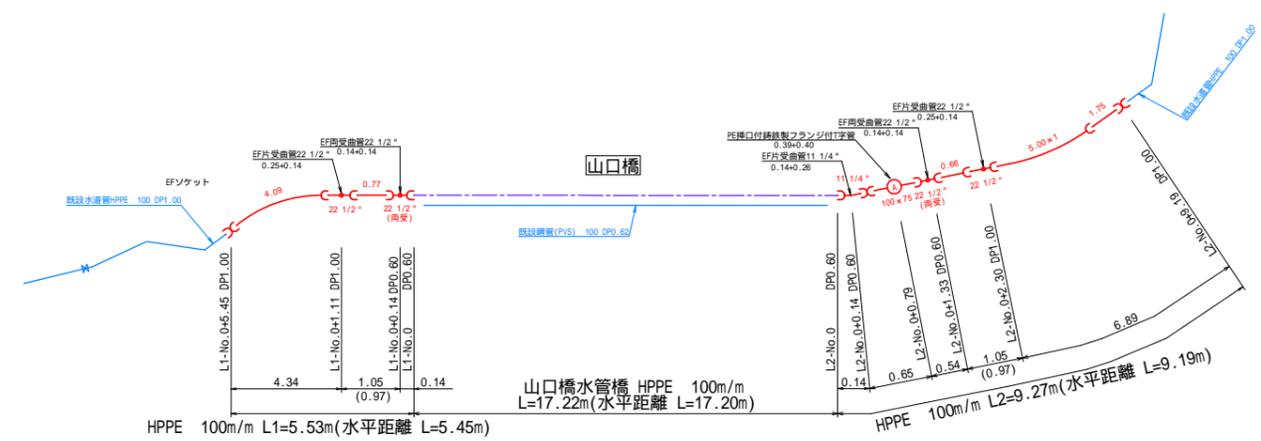
土工定規図 S=1:25



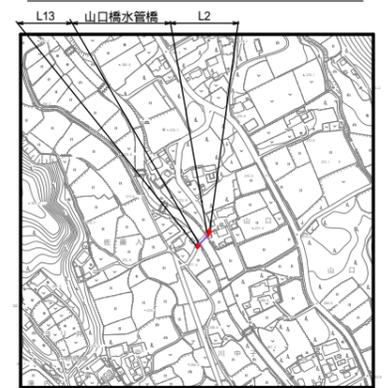
空気弁詳細図 S=1:20



配管詳細図 S=Free



工事場位置図 S=1:5,000

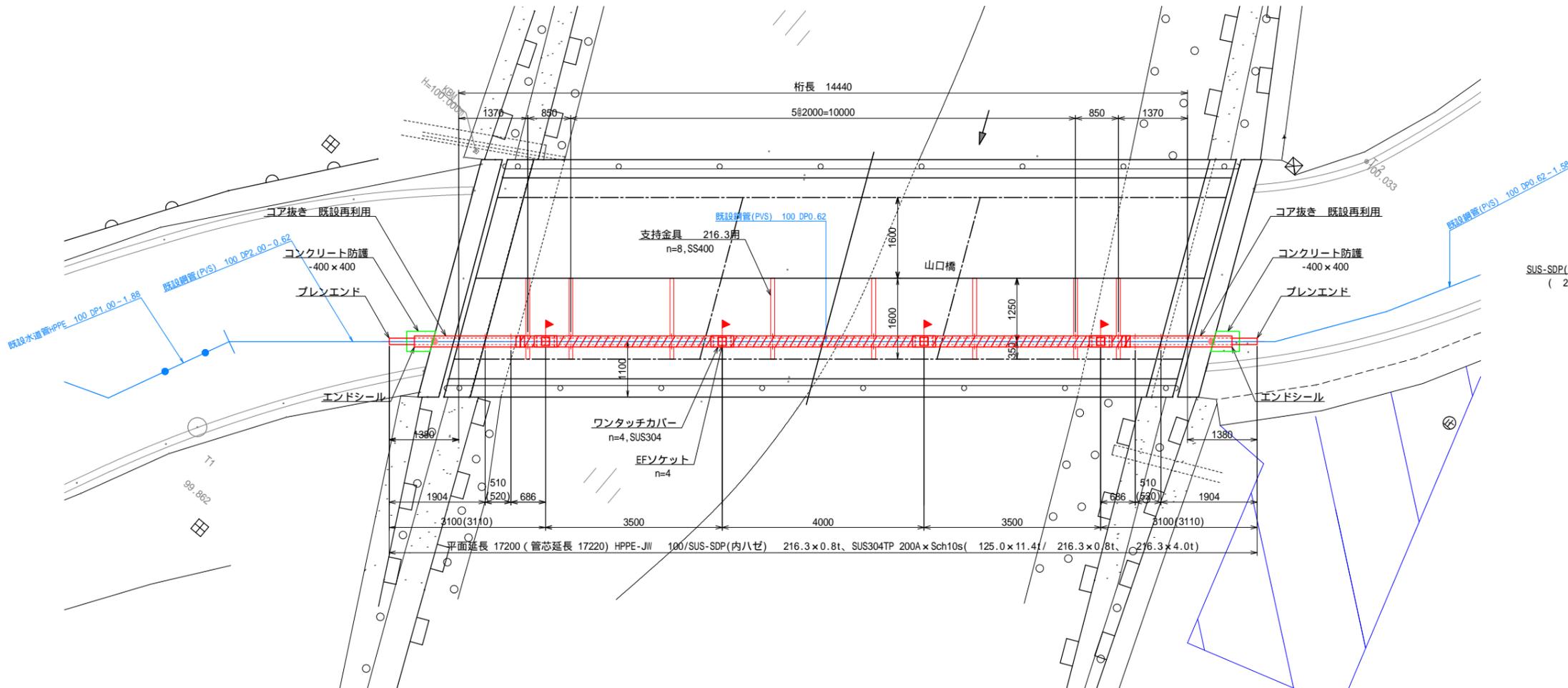


発注者	矢板市役所		
工事名	配水管布設工事 第 号		
図面	平面図・断面図・配管詳細図 土工定規図・空気弁詳細図		
工事箇所	矢板市 平野 地内		
縮尺	図示	設計年月日	図番
検査	照査	設計	製図
			1 / 3

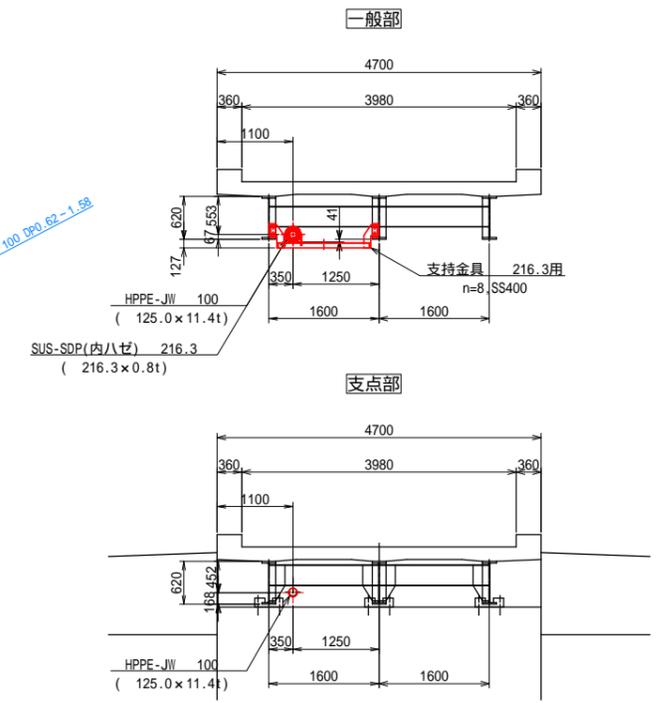
山口橋水管橋一般図 (橋梁添架形式)

本管 HPPE-JW 100
 外装管 SUS-SDP(内八ゼ) 216.3
 SUS304TP 200A

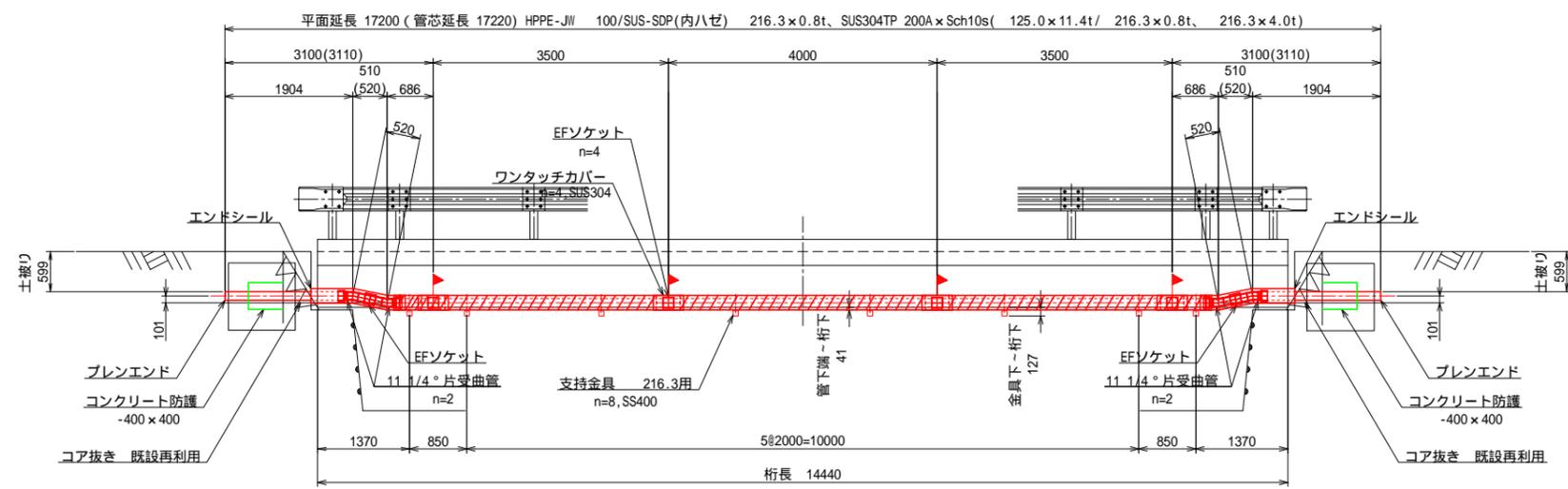
平面図 S=1:50



断面図 S=1:50



側面図 S=1:50



《特記事項》

- 表記単位
特に示さない限り、寸法はmm単位とし、()内寸法は実長とする。
- 使用材質
特に示さない限り、使用する材質はSUS304とする。
- 適用規格
(1) 本管：水道用耐震型高性能ポリエチレン管(JWWIA K-144 HPPE-JW)とする。
外装管：架空部はステンレス製スパイラルダクト(SUS304 SDP)とする。
埋設部および空気弁部は配管用ステンレス鋼管 JIS G 3459とする。
(2) その他の鋼材は以下に挙げる規格もしくはこれらに準ずるものを用いる。
・熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼材 JIS G 4304
・冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼材 JIS G 4305
・ステンレス棒鋼 JIS G 4303
- 塗覆装
内面：無塗装とする。
外面：埋設部のみポリウレタン被覆とする。
- 記号
▶印は現場融着箇所を示す。
- 製品の品質保証は、日本水道協会の検査合格品とする。
- 設計照査、製作、施工は日本水道鋼管協会の指針に準拠、属するものとする。

製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

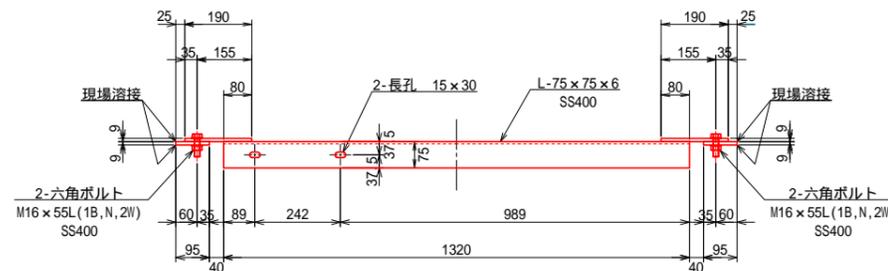
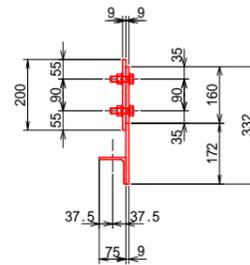
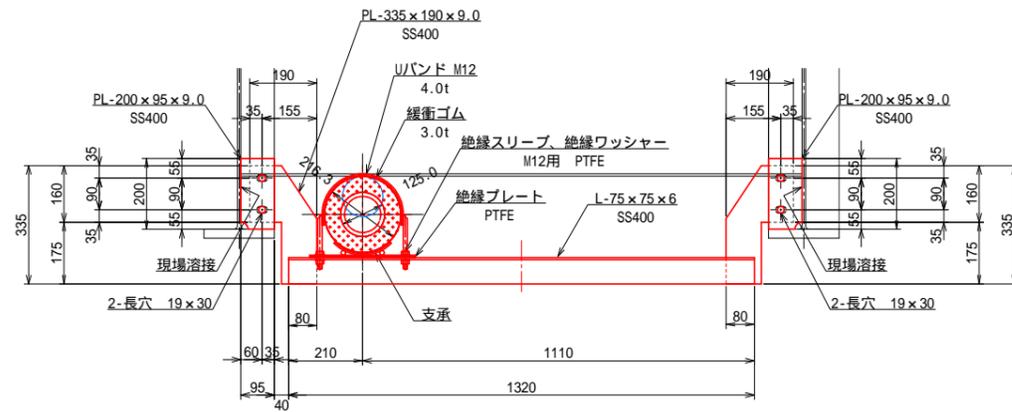
発注者	矢板市役所		
工事名	配水管布設工事 第 号		
図面	山口橋水管橋一般図		
工事箇所	矢板市 平野 地内		
縮尺	図示	設計年月日	図番 2 / 3
検印	照査	設計	製図

部品詳細図

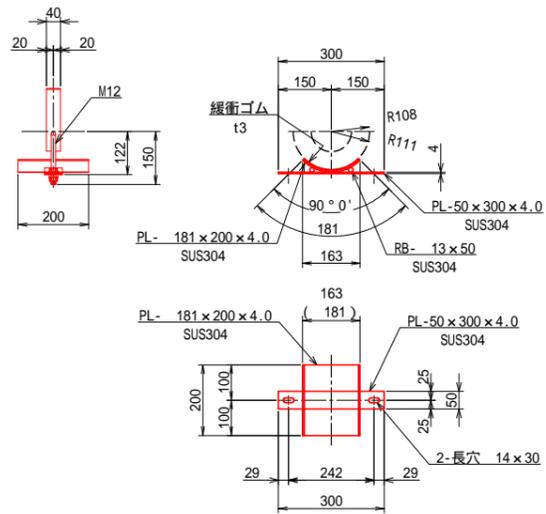
支持金具

S=1:10

材質は、SS400とする。



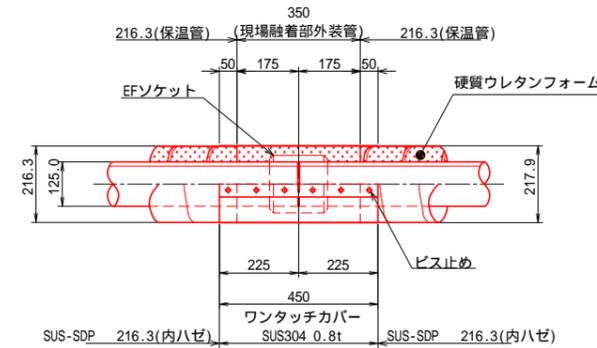
支承詳細図



ワンタッチカバー

S=1:10

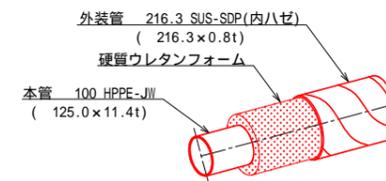
材質は、SUS304とする。



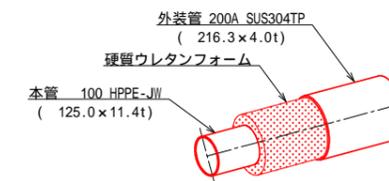
二重管保温詳細図

S=Free

架空部

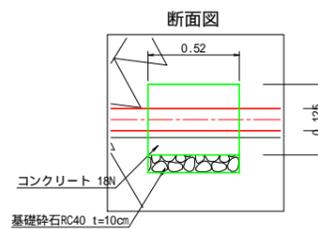
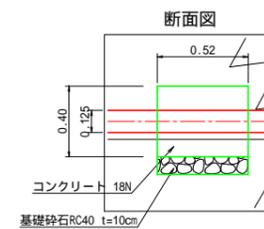
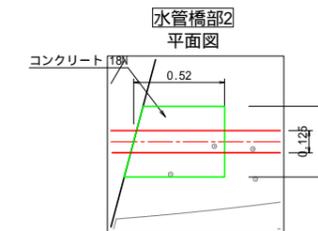
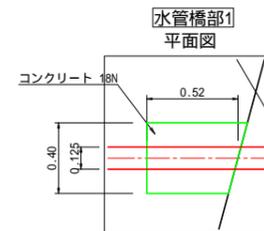


埋設部、異形管部



防護コンクリート

S=1:20



発注者	矢板市役所		
工事名	配水管布設工事 第 号		
図面	部品詳細図		
工事箇所	矢板市 平野 地内		
縮尺	図示	設計年月日	図番 3 / 3
検印	照査	設計	製図